

# 横須賀市中小企業景況レポート

第 18 号 (平成 29 年 4 月号)

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課  
〒238-8550 横須賀市小川町 11  
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団がさらに追加調査しました。

3か月に1回発行しています。

【市ホームページ（下記）からもご覧いただけます。】

横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoureport/yokosukasikeikyouripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：170社（うち、かながわ信用金庫+湘南信用金庫 調査154社）
- ③ 調査期間：前期・・・平成28年 10～12月の景況感（調査時点 平成28年12月1日）  
今期・・・平成29年 1～3月の景況感（調査時点 平成29年3月1日）  
次期・・・平成29年 4～6月の景況感（ ” ” ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：DI値算出による（次ページにDI値の説明あり）

## 景況及び4項目の調査結果（全業種）

\*DI値調査結果は裏面に記載

**全業種の景況感は、前期の6Pから10P悪化し、△4Pとなりました。**

業種別にみると、全業種とも悪化していますが、中でもサービス業は20Pと大きく悪化し、前期の△5Pから△25Pとなり、厳しい業況になっています。

次期については、横ばいか改善が見込まれていますが、卸・小売業だけは更に悪化することが予想されています。

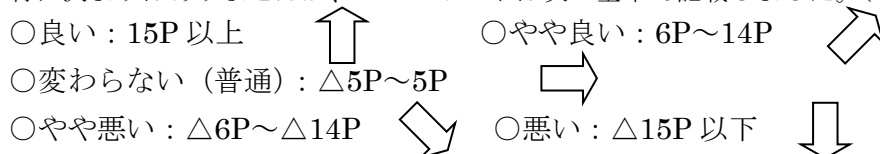
全業種の項目別でみると、雇用人員は前期とは大きく変わりませんが、△35Pと引き続き人材不足感があり、次期も横ばいの状況が予想されています。

売上額、収益、および資金繰りは、前期より悪化し、それぞれ△1P、△8P、△7Pとなり、すべての項目がマイナスになってしまいました。

昨年同期（平成28年1月～3月）の売上額の比較については「増加」と回答した企業の割合が減り、「変わらない」「横這い」が増えたため、DI値は3.4Pの悪化で△16.5Pとなっています。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（％）－悪い（少ない）等の構成比（％）を計算した結果です。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

特に決まりはありませんが、このレポートは次の基準で記載しました。（マイナスは△表示）



## 業種別 調査結果と事業者の声

\*DI 値調査結果は裏面に記載

☆以下（ ）内は前回調査比 DI 値の増減

### (1) 製造業 14 <やや良い>



雇用人員は前期の△39P から更に7P 悪化し、△46P となりました。一方で収益は前期の△6P から9P 改善し、3P とはいえプラスに転じました。

☆事業者の主な声☆

- ・受注は順調。融資により資金も確保でき、今後も社長の人柄と高い技術力で売上げ増加が見込まれる。
- ・昨年同様、大口納入先の人員減少に伴い受注量が減少した。納入先工場の人員の増減に売上げが左右すると状況が続いている。
- ・年度内の納品希望が多いが、残業抑制との兼ね合いで、現状の対応が限界である。
- ・受注量に波があるため、安定した確保が課題。増加していくようであればパートを募集する予定。
- ・大手企業の業況回復により受注増加基調を維持しているが、利益確保については、厳しい状況を余儀なくされている。
- ・全体的な受注量が低下していて、海外に押され発注元自体が受注確保できない状況が懸念される。
- ・仕事の量は増えたが、検査水準が上がったためにコスト増になり、収益の確保が難しい。

### (2) 建設業 17 <良い>



景況感は、他業種に比べてよい状況を維持していますが、前期よりは9P 悪化しました。項目別に見ても全て前期より悪化しています。次期については、雇用人員で14P の改善が見込まれます。

☆事業者の主な声☆

- ・横須賀市内を中心に受注は安定し、売上げ増加。今後も増加を見込んでいる。
- ・昨年開いた事務所を拠点とするリフォームの受注が順調に推移している。
- ・市外の公共事業を2本確保し、業況は回復基調で増収・増益となる。
- ・既存取引先の大手企業の受注は安定して確保できているが、金額の大きい案件が少ない。
- ・個人宅の住宅リフォーム工事を中心に受注は確保しているが、材料費・人件費の高騰は否めない。
- ・工事単価が下がり利益が圧縮されるなかで、積算管理を徹底し、利益確保に取り組んでいる。
- ・市からの発注状況は例年並みであるが、入札価格での受注は厳しく、売上げ減少になっているため、公共事業より民間からの受注割合の増加を図る方針である。

### (3) 卸・小売業

△15 <悪い>



景況感は9P悪化し、△15Pとなりました。雇用人員以外の他の項目も悪化しています。雇用人員は、△21Pと悪いながらも、前期より10P改善がみられました。

☆事業者の主な声☆

- ・近隣固定客を中心に、アフターサービス等で大型店との差別化を図ってきたが、大型店との価格差により年々売上げが減少してきた。
- ・幅広い顧客層で売上げは維持できている。今後は後継者不足が問題となる。
- ・旧来の激安店や、メーカーのネット販売で、競争が激化しているが、祭事・イベントにより売上げを維持している。
- ・価格帯が高めの商品の動きが悪くなっている。
- ・近隣のスーパーが低価格路線を推し進めており、売上げは下降傾向にある。
- ・人員増加による販路拡大が順調で、売り上げが増加している。

### (4) 不動産業

0 <変わらない>



景況感は前期より8P悪化し、0Pとなりました。収益、資金繰りは、ともに△27Pで、前期に比べ37Pと大幅に悪化しましたが、売上額は9Pの改善がみられました。

次期は、収益で18P、資金繰りで27Pの改善が見込まれています。

☆事業者の主な声☆

- ・市外鉄道沿線が好調。市内の物件ではリフォーム案件が実績を上げている。
- ・自社プロジェクトで更なる増収増益を目指す方針だが、大規模なプロジェクトの販売には、時間を要するため、しばらくは前年並みの推移を見込んでいる。
- ・市外の土地売却により大幅な売り上げ増加であったが、販売が長期化したことで赤字となった。
- ・他の不動産業者も横須賀に入ってきているため、思うような仕入ができていない。
- ・テナントが空いたが、同じ賃貸料では入居希望者が集まらない。

### (5) サービス業

△25

<悪い>



景況感は前期より20P悪化しました。また、資金繰りを除くその他の項目も悪化し、中でも売上額と収益は、それぞれ20P、15P悪化しました。

一方で資金繰りは、緩やかながら前期より6P改善し、△8Pとなりました。

☆事業者の主な声☆

- ・暖冬の影響で石油の売上げが伸びず、前年比減少となった。
- ・固定客が高齢で、来店頻度が減っていることが要因となり、売上げが減少している。
- ・乗務員の高齢化が進み1台あたりの稼働率の低下が課題となっている。人員増加等の改善策を検討している。
- ・低価格を売りにする大手チェーン店との価格競争を避けるためにも、技術力を売りにしている。今後も、熟練パートを中心とした体制を継続する方針である。
- ・ヘルパーを増員し、訪問件数を増やしたことで、売上げが増加した。

D I 値 調査結果

前・・・前期 平成28年10～12月の景況感（調査時点 平成28年12月1日）  
 今・・・今期 平成29年1～3月の景況感（調査時点 平成29年3月1日）  
 次・・・次期 平成29年4～6月の景況感（ ” ” ）



業種別調査企業数(回答数)

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	172	38	35	45	12	42
今期	170	35	36	52	11	36
次期	170	35	36	52	11	36

(単位：ポイント)

項目	業種			全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況	景況全般について総合的な概況をお聞きました。																				
良い(A)	27	25	24	34	31	40	43	42	42	18	23	15	25	18	18	19	8	6			
変わらず	52	46	51	48	52	37	40	33	47	58	39	50	58	64	73	57	59	63			
悪い(B)	21	29	25	18	17	23	17	25	11	24	38	35	17	18	9	24	33	31			
DI値(A)-(B)	6	△4	△1	16	14	17	26	17	31	△6	△15	△20	8	0	9	△5	△25	△25			
今-前、次-今	△10	3		△2	3		△9	14		△9	△5		△8	9		△20	0				
売上額	製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																				
好転(A)	34	27	24	42	31	34	46	39	33	30	27	17	20	27	18	24	11	14			
変わらず	41	45	48	32	49	37	31	36	50	46	40	46	60	55	73	47	53	55			
悪化(B)	25	28	28	26	20	29	23	25	17	24	33	37	20	18	9	29	36	31			
DI値(A)-(B)	9	△1	△4	16	11	5	23	14	16	6	△6	△20	0	9	9	△5	△25	△17			
今-前、次-今	△10	△3		△5	△6		△9	2		△12	△14		9	0		△20	8				
収益	売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																				
増加(A)	26	21	19	26	26	29	43	31	28	20	20	19	30	9	0	19	11	8			
変わらず	48	50	55	42	51	45	40	52	64	54	45	43	50	55	91	52	53	59			
減少(B)	26	29	26	32	23	26	17	17	8	26	35	38	20	36	9	29	36	33			
DI値(A)-(B)	0	△8	△7	△6	3	3	26	14	20	△6	△15	△19	10	△27	△9	△10	△25	△25			
今-前、次-今	△8	1		9	0		△12	6		△9	△4		△37	18		△15	0				
雇用人員	需要に対応できる労働状況をお聞きました。																				
多い(A)	2	3	2	0	0	0	3	3	3	2	4	2	0	0	0	5	6	6			
適正	62	59	65	61	54	59	54	46	60	65	71	77	100	82	82	37	50	55			
少ない(B)	36	38	33	39	46	41	43	51	37	33	25	21	0	18	18	38	44	39			
DI値(A)-(B)	△34	△35	△31	△39	△46	△41	△40	△48	△34	△31	△21	△19	0	△18	△18	△33	△38	△33			
今-前、次-今	△1	4		△7	5		△8	14		10	2		△18	0		△5	5				
資金繰り	資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																				
楽である(A)	14	13	11	21	17	14	14	17	8	15	10	12	10	9	9	7	11	8			
さほど苦しくない	70	67	70	55	66	66	77	69	81	72	67	65	90	55	82	72	70	67			
苦しい(B)	16	20	19	24	17	20	9	14	11	13	23	23	0	36	9	21	19	25			
DI値(A)-(B)	△2	△7	△8	△3	0	△6	5	3	△3	2	△13	△11	10	△27	0	△14	△8	△17			
今-前、次-今	△5	△1		3	△6		△2	△6		△15	2		△37	27		6	△9				

〈参考〉昨年同期と現在の売上比較(回答 97社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「売上額」が増加(A)	22 社	22.7 %	29.3 %
昨年と比べ「売上額」が変わらない、横ばい	37 社	38.1 %	28.3 %
昨年と比べ「売上額」が減少(B)	38 社	39.2 %	42.4 %
DI値(A)-(B)		△16.5 P	△13.1 P

